

MR(麻しん・風しん)ワクチンの 任意接種費用の全額助成を実施します。

MRワクチンは定期予防接種として、2回接種する機会がありますが、定期接種の対象年齢を過ぎてしまうと、「任意接種(保護者の判断で接種するかどうか決めるもの)」となり、自費接種となります。

品川区では、定期接種を受けられなかった方へ、接種費用の一部を助成します。

1. 助成対象者 2歳～19歳未満で、定期接種を2回受けられなかった方

2. 助成額 全額助成(一人1回まで助成)

3. 助成の方法

品川区内の契約医療機関で接種を受ける場合に限り助成があります。

これまでの接種履歴を確認し、助成対象に該当される方へ、予防接種予診票を交付いたします。予防接種予診票は接種をされる際に、必ず必要な書類です。

◆詳しい交付方法は、裏面、お問い合わせ先までご連絡ください◆

4. 注意点

妊娠をしている女性および妊娠している可能性がある女性は接種を受けることができません。風しんを含むワクチン接種後は少なくとも2ヶ月避妊が必要です。

接種の際は、以下の書類を忘れずにお持ちください

(1) 予防接種予診票

(2) 母子健康手帳

(3) お子さんの健康保険証

※品川区以外で接種した任意予防接種(MRワクチン)は、助成がありません。

全額自己負担となります。ご注意ください。

裏面につづく



MR(麻しん・風しん)ワクチンの任意接種は、予防接種法に基づかない予防接種です。このため、万が一ワクチン接種による健康被害が発生した場合は、予防接種法の被害救済の対象にはなりません。独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく、副作用救済給付が適用されます。

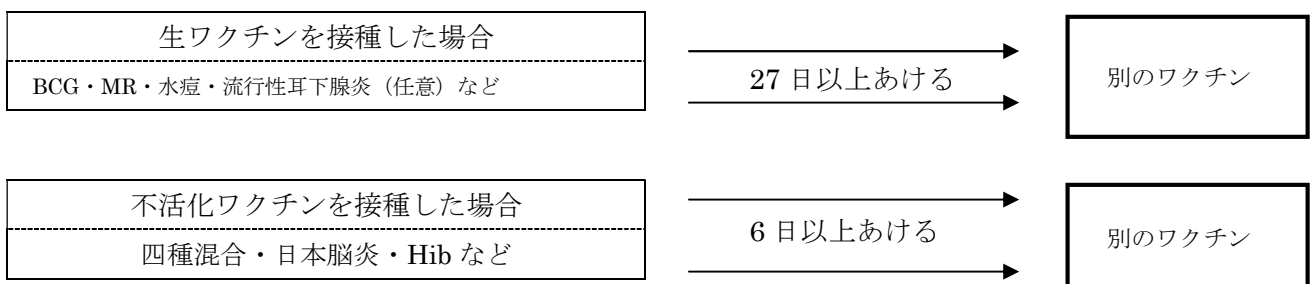
日本国内で販売承認されていないワクチンは、救済制度の対象にはなりません。

麻 し ん (は し か)	
病 気 に つ い て	<ul style="list-style-type: none"> ● 麻しんウイルスの空気感染によって起こります。感染力は極めて強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ全員が発症します。 ● 潜伏期間：10～12日 ● 主な症状：38度程度の発熱やかぜ症状ではじまり、2～3日発熱が続いたあと、39度以上の高熱とともに発疹が出現します。 ● 脳炎、肺炎、中耳炎など
ワ ク チ ン	<ul style="list-style-type: none"> ● 弱毒化が確かめられている生ワクチンで、1回0.5mlを皮下注射。
効 果 と 副 反 応	<ul style="list-style-type: none"> ● 1回の接種により95%以上の割合で免疫が獲得できます。 ● 接種後2週間後から感染防御の効果が現れます。 ● 接種後5～10日に発熱と発疹が10～15%の割合で出現します。 ● 稀に生じる重い副反応としては、アフラキシン様症状（ショック症状、じんましん、呼吸困難等）、急性血小板減少性紫斑病（紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出欠等）、脳炎及びけいれん等が報告されています。

【異なった種類のワクチンを接種する場合の間隔】

予防接種で使うワクチンは「生ワクチン」と「不活化ワクチン」があり、ワクチンを接種した後に別のワクチンを接種する場合には間隔を守ることが必要です。

また、医師が必要を認めた場合は、同時接種することもできます。接種医師とご相談ください。



【問い合わせ先】

品川区保健所保健予防課	5742-9152	品川保健センター	3474-2225
大井保健センター	3772-2666	荏原保健センター	3788-7013

【品川区ホームページ】

品川区 予防接種

検索